

2 整備事業
(産地競争力の強化を目的とする取組用)

(岡山県 平成22年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	対象作物・畜種等名	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況							成果目標の具体的な実績①	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	
							計画時 (平成15年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	4年後 (平成21年)	5年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
倉敷市	(有)スカイファーム	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	採卵鶏	生産性向上	採卵鶏経営の低コスト化(10羽当たりの生産コスト5%以上の削減)	234,000円/100羽	210,836円/100羽	211,628円/100羽	226,896円/100羽	235,856円/100羽	224,422円/100羽	199,000円/100羽	27.3%	100羽当たりの生産コストが4.1%減少した	<ul style="list-style-type: none"> ウインドレス鶏舎(1棟) 集卵室(1棟) 鶏糞ピット(1棟) 設計監理(1式) 	180,763,800	84,104,000			96,659,800	H18.3.31	配合飼料価格が平成20年度以降高くなるため、目標は達成できなかった。しかし、100羽あたりの収入は計画時に比べて3倍となり、労力も軽減されており、ウインドレス鶏舎にしたことでの生産性向上、労働力低減は図られている。	配合飼料価格が計画時よりも高騰しているため、目標達成には至らなかった。しかし、鶏舎のウインドレス化により生産性向上が図られ、飼料価格が高く推移しているにも関わらず良好な経営が維持できている。今後も目標達成のため県で指導を続けていく。
															<ul style="list-style-type: none"> ウインドレス鶏舎(1棟) 設計監理(1式) 	142,194,150	65,114,000			77,080,150	H19.3.30			

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	対象作物・畜種等名	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
							計画時(平成20年)	1年後(平成21年)	2年後(平成22年)	3年後(平成23年)	目標値(平成22年)	達成率				計画時(平成20年)	1年後(平成21年)	2年後(平成22年)	3年後(平成23年)	目標値(平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
和気町	大山集農ファーム	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	省エネ農業機械等導入(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を20%以上低減	21.7 L/t	13.08 L/t	12.53 L/t	16.5 L/t	176.3%	燃油の使用量が42.3%低減できた。	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	0.78 h/t	0.75 h/t	0.47 h/t	0.54 h/t	122.0%	労働時間が39.7%抑制できた。	汎用遠赤乾燥機80石3基	7,560,000	3,600,000	0	1,000,000	2,960,000	H21.3.26	燃油使用量・労働時間ともに目標を上回る削減ができて、十分な成果が得られた。	低コスト化、省力化が図られ、産地の維持に大いに貢献している。		

(注) 1 別紙様式1号の2-1に準じて作成すること。

2 要領第1の(2)の(ア)及び(イ)場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。

3 別添として、各事業実施主体等が作成した事業実施状況報告書を添付すること。

4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	対象作物・畜種等名	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
							計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率				計画時(平成20年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率				(工種、施設区分、構造、規格、能力等)	交付金	都道府県費	市町村費					その他
新見市	阿農協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(もも)	需要に応じた生産量の確保	【果樹】(販売金額の増加に関する目標)事業対象品目の産出額又は販売金額を5%以上増加	79,679千円	76,337千円	60,695千円	55,436千円	93,839千円	-171.2%	【果樹】(需要に応じた品種の生産増加に関する目標)事業対象品目のうち都道府県の果樹農業振興計画に定める若しくは定める予定となっている振興品種又は県の奨励品種の栽培面積又は出荷量の割合を4ポイント以上増加	需要に応じた生産量の確保	71.25% (17.1ha/24ha)	54.58% (17.9ha/24ha)	76.78% (15.8ha/23ha)	68.7% (15.8ha/23ha)	83.33% (20ha/24ha)	-21.1%	おかやま夢白桃への改植が0.7ha進んだが、清水白桃、白鳳、川中島白桃の栽培面積が減少し、推奨・準推奨品種の栽培面積については、1.3haの減少となった。	集出荷貯蔵施設(選果機1条ライン一式)	71,379,000	28,938,000	0	3,950,000	55,460,000	H21.3.20	本事業によって、選果作業の効率化や糖度保証による有利販売につながったが、低温・多雨といった異常気象や生産者の高齢化により、目標が達成できなかった。今後も部会全体で適切な栽培管理に努めるとともに、新規栽培者の勧誘や推奨品種等の栽培を促し、早期の目標達成を目指したい。	急激な高齢化や低温等の異常気象による品質低下・小玉化で収量確保が難しく、目標を達成できなかった。また、大規模農家の死亡による推奨品種の面積減やニーズにあった品種の試作導入で品種の集約が難しくなっている。部会を中心に関係機関一丸となって新規就農者の確保や推奨品種への改植、栽培技術の高位平準化を進めており、目標達成に努めている。			
津山市	おかや酪農協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲発酵粗飼料)	生産性向上	【飼料増産】(耕種作物増産)飼料収穫面積を3%以上増加	27ha	59ha	43.3ha	53.6ha	50ha	115.6%	アグリアシストシステム(株)、勝英コントラ、アグリテック岡山と協力し収穫を行う。飼料収穫面積は計画時より198%増加した。	生産性向上	53戸	55戸	47戸	73戸	58戸	400.0%	アグリアシストシステム(株)、勝英コントラ、アグリテック岡山と協力し収穫を行う。受託農家戸数は計画時より20戸増加した。	細断型ホーローップ収穫機 自走式アップマシーン	13,057,800	5,805,000	0	0	7,252,800	H20.8.29	アグリアシストシステム(株)、勝英コントラ、アグリテック岡山と協力して収穫作業を行い適期収穫による品質の向上を図ったため、WCS利用量が増加し、収穫面積及び受託農家数が目標値を上回った。	県下の他コントラと協力することにより、利用の広域化を図ることができ、自給飼料利用の向上を図ることができた。			

別紙様式 2 号

(岡山県 平成22年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	対象作物・畜種等名	政策目標①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	政策目標②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
						計画時(平成18年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率			計画時(平成18年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他						
奈義町	(有)丸永エッグランド	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	採卵鶏	生産性向上	産卵率0.3%以上向上	91.80%	-	92.30%	94.60%	92.50%	400.0%	産卵率は94.6%と、目標を大きく上回り、生産性が向上に寄与した。	生産性向上	年間産卵量の向上割合0.25%以上増加	21.2kg	-	21.1kg	21.6kg	21.4kg	200.0%	産卵量が21.6kgと目標を大きく上回り、生産性の向上に寄与した。	育雛舎1棟 成鶏舎2棟 水槽1基 バスター1式	566,055,000	138,103,000	0	0	427,952,000	H21.3.13	ウインドレス方式の導入で鶏舎環境のコントロールが可能となったため、生産性の飛躍的な向上が図られた。	事業実施により生産性の向上が図られたことは、食糧自給率向上に寄与するものである。	

都道府県平均達成率	138.7%	総合所見	飼料作物の増産、採卵鶏の産卵率・産卵量の向上、稲作における低コスト化・省力化を成果目標とした各地区については、目標が達成され、農畜産物の生産性の向上が図られた。採卵鶏経営の低コスト化を成果目標とした1地区については、飼料価格の高騰により目標が達成できなかったが、今後も低コスト化を徹底し、経営安定を図るよう指導する。ももの販売額の向上、需要に応じた品種の生産増加を成果目標とした1地区については、気象の影響や生産者の減少により成果が上がっていないが、産地の維持・発展のため、関係機関が連携して生産者を確保するとともに、目標達成に向けた指導を強化したい。
-----------	--------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
 2 要領第1の1の(2)のアの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。